指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	神林いこいの家	評価対象年度	平成 26 年度
指定管理者名	村上市レクリエーション協会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日（3年）	評価者（課長）	冨樫 孝平

①事業実績

利用実績	延べ利用人数 2，487人
サービス向上の取り組み	利用者の要望を聞いて、備品などの更新しサービスの向上を図る。

②管理経費　（単位：千円）

区分		前々年度（24年度）	前年度（25年度）	当該年度（26年度）	合計	備考
収入	指定管理料	3,780	3,807	3,810	11,397	指定期間における指定管理料の総額：11,397,000円
	利用料金					
	自主事業収入	1			1	
	その他					預金利息
	計	3,781	3,807	3,810	11,398	
支出	管理経費	3,552	3,849	3,820	11,221	
	（うち人件費）	1,481	1,601	1,620	4,702	
	（うち光熱水費）	885	1,001	959	2,845	ガス、水道、電気、灯油、ガソリン
	（うち修繕費）	116	109	121	346	非常口誘導灯、他
	（うち委託料）	764	756	747	2,267	火災設備、AEDリース、車両リース
	（うちその他）	306	382	374	1,062	NHK受信料、消耗品、通信費、消費税、印紙
	自主事業費	3			3	
	計	3,555	3,849	3,820	11,224	
差引		226	▲ 42	▲ 10	174	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
	（評価理由） 施設の維持管理を適正に行い、良好に運営を行っている。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	3	2.4
		利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか			
	（評価理由） 委託事業の生きがい活動支援通所サービスを運営する中で、施設管理側としてレクリエーション講習会に参加するなど職員のスキルアップを進めている。自主事業の行いにくい施設であるが、利用者のニーズを把握して自主事業の検討していただきたい。また、障がい者施設や小中学校の体験学習を受け入れするなど地域貢献している。利用者間の日常会話に傾聴するとともに、利用日を調整するなど、トラブルを未然に防止している。				
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	5	8.0
		指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか			
	（評価理由） 適切な節電・節水・冷暖房の温度管理を行い、施設運営経費の削減に努めている。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員（人数・有資格者等）が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	5	4.0
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか（人員配置、マニュアル、訓練等）	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール（規則・マニュアル等）と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	（評価理由） 委託事業との連携により、応急手当講習や職員の緊急連絡網を整備し非常時の体制整備や、レクリエーション資格（公認指導者）の資格取得者がレク協会員に対し自主研修を行うなど、適切な運営を行っていると認めます。 人員配置については、施設長（施設管理者）として、いこいの家の業務全体の統括に専従する者を必ず置くこと。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	（評価理由） トイレ、ボイラー等の設備の保守点検を定期的に実施し、適切に管理していると認める。				

④総合評価

評価点合計	80.8	評価ランク	A

⑤管理運営に対する全体的な評価

利用者がほぼ固定している施設であるが、公民館や社会福祉協議会などに利用促進を呼びかけしている。委託事業との連携により、職員の自主研修により資質向上を図っている。また、利用者の要望等には迅速に対応し、適正に維持管理していると認めます。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

施設長（施設管理者）として、いこいの家の業務全体の統括に専従する者を必ず配置してください。村上市レクリエーション協会らしさを現し、利用者へのサービス向上につながる自主事業の検討を行い施設運営の活性化を図り、適切なサービスの提供ができるよう、管理運営をお願いしたい。

記入要領

・「評価段階」は5段階（5～1）により評価を行うこと。

・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分

S　95.0以上

A　80.0以上95.0未満

B　60.0以上80.0未満

C　60.0未満